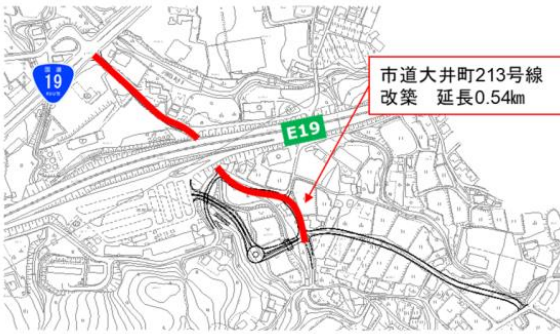


新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担 当 課 :	道路局 環境安全・防災課
担当課長名 :	水野 宏治

事業の概要

事業名	スマートICアクセス すずめこがねかがみやま (市) 雀子ヶ根鏡山線、(市) 大井町101号線、 おおいちよう (市) 大井町213号線 (仮称) 恵那峡スマートICア えなきょう クセス	事業 区分	地方道	事業 主体	岐阜県恵那市
起終点	自: 岐阜県恵那市大井町雀子ヶ根 えな おおいちようすずめこがね 至: 岐阜県恵那市東野白坂 えな ひがしのしらさか			延長	1.4km
事業概要					
市道雀子ヶ根鏡山線、市道大井町101号線、大井町213号線は、中央自動車道の恵那峡SAに設置を予定しているスマートICへのアクセス道路であり、国道19号までの延長1.4kmを整備するものである。					
事業の目的、必要性					
周辺企業からの中央自動車道への利便性向上や、恵那峡などの観光地へのアクセス時間の短縮により、企業活動の活性化や観光客増加が期待される。また、市内中心部の交通混雑を緩和することで市民の利便性が向上するとともに、災害時には防災拠点への安全な輸送経路を確保することで、地域の防災力が強化される。さらに、大雨や冠水による通行規制が懸念される区間を回避する代替ルートを確保することができる。					
全体事業費		約20億円	計画交通量		約1,700台／日
事業概要図					
 事業箇所 【上り線】  市道大井町101号線 延長0.80km 市道雀子ヶ根鏡山線 改築 延長0.09km 【下り線】  市道大井町213号線 改築 延長0.54km					

関係する地方公共団体等の意見

・恵那市都市計画マスタープランにおいて、スマートICの設置は主要な施設の整備方針に位置付けられている。 ・恵那市リニアまちづくり基盤整備計画において、スマートIC及びアクセス道路整備方針に位置付けられている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

-

対応方針(採択理由)

・費用対便益:便益が費用を上回っている。 ・令和6年9月6日付で恵那峡SAスマートインターチェンジ(仮称)が新規事業化している。 以上より、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当である。
--

事業評価結果（総合評価）

事業採択の前提条件
☒ 便益が費用を上回っている
☒ 事業実施環境が整っている

費用 便益分	B/C		(参考)	EIRR	総費用	18億円	総便益	52億円	(参考) 時間信頼性向上便益： CO2排出削減便益：	感度分析		基準年
		[4%]	2.9		〔 事業費： 維持管理費： 更新費：	16億円 1.5億円 -億円	〔 走行時間短縮便益： 走行経費減少便益： 交通事故減少便益：	45億円 5.7億円 1.2億円		交通量変動	B/C＝2.0～2.3（変動ケース：±10％）	令和6年
	(参考)	[2%]	4.5							事業費変動	B/C＝2.1～2.2（変動ケース：±10％）	
		[1%]	5.6							事業期間変動	B/C＝2.0～2.3（変動ケース：±20％）	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは、を対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔)内は社会的割引率の値)

事業 の影 響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者へ	渋滞対策	○	恵那ICから恵那峡などの北部観光地へのアクセス経路や、国道19号と恵那ICを結ぶ経路は市内中心部を通過しているため、慢性的な交通渋滞が発生している。恵那峡スマートICアクセス道路の整備により、交通分散や迂回ルート の構築による渋滞解消が図られる。
		事故対策	◎	目的に応じた道路の使い分けにより、交通の分散が可能となり、周辺道路での事故抑制が期待できる。
		歩行空間	－	注目すべき影響はない。
	社会全体への影響	住民生活	○	市内混雑の交通量が最大6％減少。
		地域経済	◎	代表観光地「恵那峡」への観光客の利便性が向上し、滞在時間が増加すれば、周遊観光や広域観光を支援できる。
		災害	◎	国道 19 号および主要地方道恵那白川線における大雨や土砂災害等による通行規制の危険性がある区間を回避する新たな代替ルートの確保ができる。
		環境	－	注目すべき影響はない。
		地域社会	○	中央自動車道路へのアクセス性が向上し、周辺観光地を回遊する観光ルートが形成され、観光客の増加が期待できる。

事業実施環境
・令和6年8月28日付で中央自動車道との連結許可
・令和6年9月6日付で恵那峡SAスマートインターチェンジ(仮称)が新規事業化